

平成 26 年度 横浜市つたのは学園 事業報告

横浜市指定管理施設として 6 年が経過しました。利用者数は 4 月以降 4 名の新規入所者があり、在籍者は 35 名でほぼ維持できました。今年度の出席率は 78% が目標でしたが、年間平均では 76.5% となり、目標数値からは若干低下しましたが、目標数値に近い状態が維持できました。昨年、4 月以降の利用者 4 名のうち 3 名は、前年度当施設で体験実習をした中から希望が上がりました。

平成 27 年度の指定管理料予算化に向けては、8 月下旬に健康福祉局障害支援課とのヒアリングで、目標利用者数を 38 名（本年度より +3 名）として計上することになりました。

1. 平成 26 年度事業の重点項目について

(1) 利用者数の増加を目指す。

平成 26 年度は、特別支援学校及び在宅からの実習（14 件）や家族の見学（15 件）を積極的に受け入れながら、つたのは学園の日中支援の様子等を、体験を通じて紹介した。これらの対応が、平成 27 年度の新利用者 5 名の獲得につながっている。

(2) 日中プログラムを充実させる。

1・2 班体制でグループ支援体制に取り組んできたが、下半期以降は、常勤女性職員の退職や体調不良による欠員状態が発生し、女性パート職員を 1 名採用し当面の対応はしてきたが、充実させるまでの動きはできなかった。

(3) 地域との連携強化をはかる。

通常行っている地区センターや、長津田小学校との関係は継続していくこと共に、昨年からは始まった長津田ケアプラザを事務局とする防災時の連携や、緑区社会福祉協議会福祉施設等分科会に参加し、情報交換をおこなった。

(4) 人権擁護の取り組みを充実する。

今年 6 月に開催した Y ネット総会でテーマとなった施設間研修の報告の中から、利用者への関わりについて、職員会議で話題とした。また、横浜市社協、県社協が開催する利用者の権利擁護に関する研修会に参加し、更なる職員の意識向上に努めた。

2. 管理面について

(1) 環境整備について

当初予定していた予算執行状況は、安定した執行状況で推移している。8 月末に女性常勤職員の退職があったが、男性職員を採用し職員体制の変動は保たれている。利用者ロッカーの更新も完了し、若干のスペースにソファを設置するなどの整備もできた。また、地区センターを含む施設全体の非常放送設備の老朽化により、横浜市による放送機器の更新工事が行われた。

(2) 内部研修について

今年度から内部研修として、総務係から指定管理料等の仕組みや、収支にかかわる内容の連続研修を開催し、予算関係の知識を深めた。また、職員会議の中で短時間ではあるが障害の特性に関するミニ研修を行った。

(3) 来年度指定管理予算について

来年度の横浜市指定管理予算化に向けた障害支援係からのヒアリングについては、指定管理受託から 6 年間に入り、利用者数の目標数値や今後の方向性についての確認を行った。横浜市が行った調査では、特別支援学校高等部卒者の数値は増加しており、体験実習や施設見学を通じて関連学校等から情報収集を行っていく。

3. 支援面について

(1) 利用者の状況について

指定管理後入所した利用者は 54.3% となり、登録利用者の中では、ほぼ半数が入れ替わったことになる。障害支援区分の分布は大きな変化はないが、てんかん (51.4%) 自閉群 (22.9%) 精神疾患等 (17.1%) と重複した障害を有する対照群となっていて、個別の視点からの対応が必要になっている。知的な能力は高いが、精神疾患を重複している利用者や、身体介護度の高い利用者まで支援の幅があることから、グループ活動の内容にも工夫が必要になっている。

4. 各事業の状況について

(1) 日中一時支援について

本年度は 61 名実施し、昨年度より 28 名増加している。事業としては定着化していて、ニーズとしては高い事業である。

(2) 短期入所連携システムについて

いわまワークスの利用は従来通りだが、偕恵利用の場合は、昨年途中からは支援員の宿泊をなくして対応している。同一利用者の再利用の場合は、宿泊先施設での適応性が図られている限りでは、支障はなく利用ができています。実施件数としては若干増加している。一部の家族からは、横浜市つたのは学園での宿泊ができないかという希望がある。

5. 行事について

(1) 宿泊旅行は今年度も 2 班に分かれて実施した。少人数での活動の為きめ細かな支援を行うことが出来た。しかし、予算の関係で 1 台は福祉バスを利用した企画となるため、抽選に外れると希望した日程での旅行が出来ないなどの課題が残った。また、付添職員には、支援や介助者が多いため、退職職員、法人への要請の他、施設での協力ボランティアの方に要請を行い実施した。

(2) 食事会は、今年度復活した活動だが、近隣レストランでの食事を利用者も楽しみにしている様子が伺える。

6. 家族会、家族について

(1) 施設長交代で若干不安感を示した家族はあった。来年度からは毎月開催の希望がある。必要に応じて施設側としてバックアップを行っていく。

7. その他

(1) 地域との連携について

防災対応の一環として昨年度から、長津田地域ケアプラザを事務局として「災害時の回覧板を使用した取り組み」が始まり、今年度は 6 月と 1 月に実施した。長津田地区にある病院を含む福祉施設を、4 ブロックに地区割りをして行っている。昨年との比較では、回覧にかかる時間が確実に短くなっている。しかし、電子情報ではないので、各施設・病院での情報は共有できるが、タイムリーさという意味では課題もある。

(2) 送迎車輛の寄贈について

一昨年 12 月、LINE 株式会社が行ったスクールバス(送迎用)の寄贈クリスマスキャンペーンに利用者家族が申込み当選したことに伴い、家族より施設への車輛寄贈の申し入れがあった。当該家族、LINE 担当者、施設、横浜市と話し合いを行い、寄贈を受けるにあたっては当施設が指定管理施設という性格から、法人として寄贈を受ける形とした。車種のほか、車全体に施すラッピングについては横浜市と協議して現在進めている。納車は 6 月頃になる予定である。

平成 26 年度 横浜市つたのは学園 諸状況について

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

1. 入退所の状況

入所者	入所年月日	入所前所属	退所者	退所年月日	退所後所属
男性	H26 年 4 月 1 日	特別支援学校	女性	H27 年 3 月 31 日	病院
女性	H26 年 4 月 1 日	特別支援学校			
女性	H26 年 5 月 23 日				
女性	H26 年 6 月 30 日				

2. 援護実施機関について

市内 7 区より通所中。市外は町田 1 名、大和 1 名。 地元の緑区からの利用者は、全体の 38.2%。

区	旭	泉	金沢	港南	港北	栄	瀬谷	鶴見	磯子	戸塚
男	1	0	0	0	1	0	4	0	0	0
女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	2	0	0	0	1	0	5	0	0	0
区	中	西	保土ヶ谷	緑	青葉	南	都筑	神奈川	市外	合計
男	0	0	1	9	6	0	0	1	1	24
女	0	0	0	4	3	0	0	0	1	10
計	0	0	1	13	9	0	0	1	2	34

3. 年齢について

30 歳以上の利用者の割合は 58.8%を占める、平均年齢は 34.6 歳

年数	20 未満	20～29	30～39	40～49	50 以上	合計
男	4	6	4	6	4	24
女	2	2	3	3	0	10
計	6	8	7	9	4	34

4. 障害程度区分について

生活介護事業区分平均 4.75

区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
人数	0	0	1	13	12	8	34

5. 療育手帳の状況について

	A1	A2	B1	B2	合計
男	14	7	1	1	24
女	3	1	3	2	10
計	17	8	4	3	34

6. 身体障害の状況について

部位	視覚	聴覚	上肢	下肢	体幹	心臓
人数	0	0	2	0	2	0
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級
人数	1	2	1	0	0	0

7. 在籍年数について

10年以上在籍者 41.2%、3年未満 37.9%

年数	1年未満	～2年	～3年	～5年	～10年	10年以上	合計
男	1	4	7	1	1	10	24
女	3	1	0	1	1	4	10
計	4	5	7	2	2	14	34

8. 利用者の出席率について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
稼働日	22	21	22	23	19	21		
出席率	75.6	75.2	76.9	73.8	74.4	78.1		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
稼働日	23	20	20	20	20	22	253	出席率
出席率	77.1	77.6	77.9	74.9	78.1	78.5		76.5

9. 日中一時利用の利用状況について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	8	14	13	14	14	10		
人数	3	8	5	6	5	3		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	13	11	10	7	8	11	133	前年比
人数	7	5	5	3	5	6	61	28件増

10. 短期入所連携システムの利用状況について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
泊数	2	4	4	3	2	2		
人数	3	3	2	2	1	1		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
泊数	2	2	2	1	3	4	31	前年比
人数	1	1	1	1	2	2	20	4件増

11. 教育実習生等の受入状況について

浦和大学 2名、田園調布学園 2名、東京未来大学 1名、桜美林 1名 計：6名

12. 養護学校生校外実習等受入の実施状況について

麻生養護 8名、みどり養護 2名、盲特別支援 2名

13. ホール・グラウンドの利用状況について

第3土曜以外の土曜日と祝祭日に施設開放。

14. 苦情・事故報告について

【事故報告件数】

	転倒	転落	異食	機器 破損	誤嚥	火傷	紛失	その他	合計
平成26年度	1	0	0	0	0	0	0	0	1

【ヒヤリハット件数】

	転倒	転落	行方 不明	誤嚥	食事 トラブル
平成26年度	0	0	0	0	1
	内服・ 外用薬	表皮剥離 内出血	機器 破損	その他	合計
平成26年度	0	0	2	1	4

○車輻事故報告：3件（物損）

【苦情件数】

- ① 保護者から相談 3件

15. 施設内・外研修について

OJT・OFFJT：41回（12名参加）